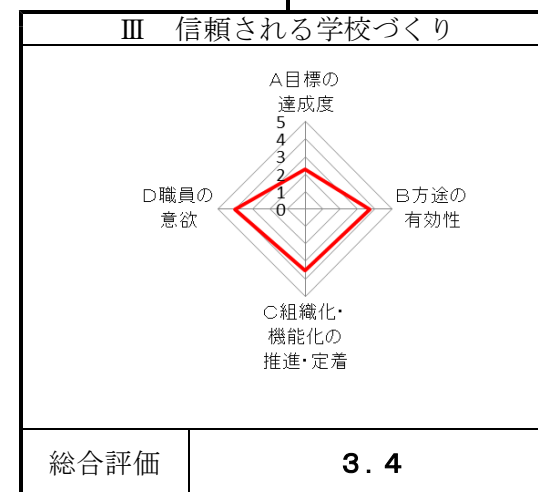
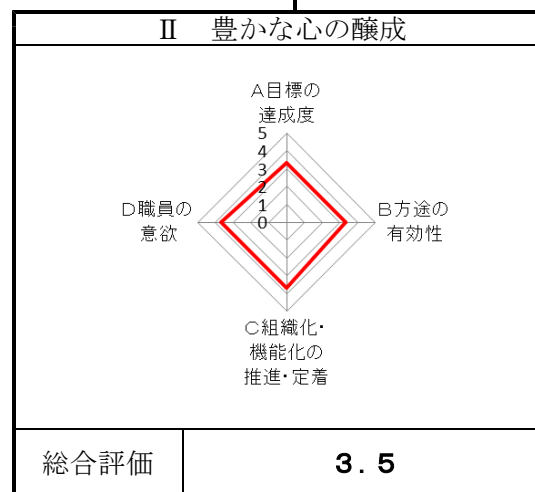
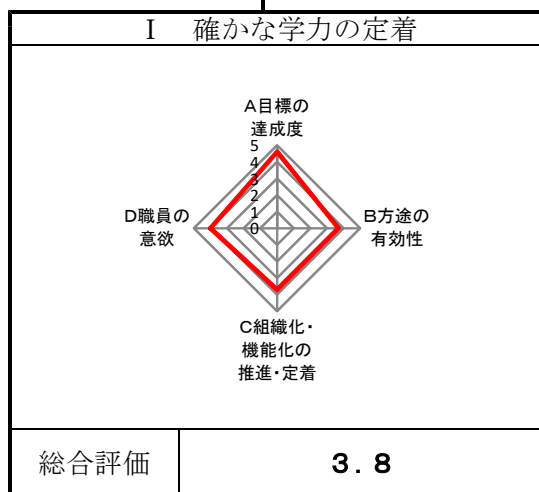


1 学校の教育目標
「自ら学び、心豊かに自己の確立に努め、たくましく生きる生徒の育成」

2 本年度の経営の重点目標
 <確かな学力の定着> <豊かな心の醸成> <信頼される学校づくり>

3 学校評価大項目（主項目）		
I 確かな学力の向上 ア 課題意識を持って学習に臨み、その課題意識を連続・発展させる生徒【意欲・態度 ※道徳性】 イ 基礎的・基本的な知識・技能が定着した生徒【知識・技能】 ウ 課題に対し、内容知・方法知の側面から思考・表現ができる生徒【思考・表現】	II 豊かな心の醸成 ア 自らを律することができる規範意識をもった生徒 イ 自分の思いや考えを上手に伝え、豊かな人間関係を構築できる生徒 ウ 「Think globally, Act locally」、地域に貢献しようとする意欲と態度を備えた生徒	III 信頼される学校づくり ○コミュニティ・スクール（CS）の推進 ※三者（学校・家庭・地域）の連携・協働、情報の発信 ○国際理解教育の推進 ○学校の危機管理



※ 5段階評定尺度 … 「5 とても満足できる 4 満足できる 3 概ね満足できる 2 努力を要する 1 根本的な改善が必要」

<学校の実践や自己評価に対する評価（学校関係者評価）>

学校の実践や取組についての評価	4.0	N = 11
学校の自己評価への評価	4.0	N = 11

学校の実践や取組についての評価	3.6	N = 11
学校の自己評価への評価	3.8	N = 11

学校の実践や取組についての評価	3.7	N = 11
学校の自己評価への評価	3.6	N = 11

令和2年度 太宰府市立太宰府西中学校 学校の「実践や取組」「自己評価」に対する評価

結果

※5段階評定尺度…「5 とても満足できる 4 満足できる 3 概ね満足できる 2 努力を要する 1 根本的な改善が必要」 N=11

3大項目	評価の視点 (細目)		自己評価		委員評価		所見	
			各項目	総合評価	実践や取組	対自己評価		
I 確かな学力の定着	A 目標の達成度	・全国(正答率・学習状況)・県テスト、学力診断テスト、体力テスト、定期考査等の結果 ※指標以上	5	4.5	3.8	4.0	4.0	○コロナ禍で学力をつけ結果を出すことは難しい状況かと思うが今後もサポートをお願いしたい。 ○「相談できる先生や友達がいる」点が高いところから、学習面でも質問しやすい雰囲気作りができてきているのだろうと感じる。 ○臨時休校による学力不足を感じる保護者もいたようだが、授業において複数のやり方を準備していた先生方には感謝したい。
		・生徒の自己評価(主として学力面)、保護者の評価(学習指導・家庭学習)	4					
		・計画的な校内研修及び1人1~2回の公開授業の実施	*					
	B 方途の有効性	・校内研究(学びの協同活動)の成果・課題	*	4.0				
		・生徒による各教科(授業)の評価	4					
		・朝学習や自学ノート、週末課題などによる基礎学力の定着	4					
	C 組織化・機能化の推進・定着	・主任主事、研究推進委員会、学力向上委員会の機能化	3	3.3				
		・小学校、家庭、他機関等との連携	4					
		・生徒会活動を活かした学習規律や学習習慣づくりの徹底	3					
	D 職員の意欲	・主題研究・一般研修の推進	3	3.6				
		・職員の自己評価(A 学習指導)	5					
			・研究の日常化	3				
II 豊かな心の醸成	A 目標の達成度	・いじめの発生数、不登校生徒の数・復帰者の数	2	3.3	3.5	3.6	3.8	○不登校生徒の増加が気になる。PTAとしても協力できることはないか考えていきたい。 ○行事が制限される中、できることを模索し活動できたことは素晴らしいと思う。 ○今後もいじめ問題解消や障がい者への理解が深まるよう人権学習の充実を期待したい。 ○コロナ禍でより丁寧に生徒への対応ができ、コミュニケーションがとれていたのだと察している。
		・生徒の自己評価(主として生活面)、保護者の評価(人間関係・教育相談)	4					
		・全国学力学習状況調査の数値(学校生活満足度)	4					
	B 方途の有効性	・諸行事、進路体験学習等の有効性	3	3.3				
		・校内研究(リレーション活動)の成果・課題	3					
		・生徒会活動への指導・支援とその成果と課題	4					
	C 組織化・機能化の推進・定着	・主任主事、合同委員会(いじめ問題対策委員会・不登校対策委員会)の機能化	4	3.7				
		・他機関等との連携(S C、S S W、地域、外部機関による教室等)	4					
		・学年部や分掌(道徳・特活・総合)の機能化	3					
	D 職員の意欲	・職員の自己評価(B 生徒指導)	4	3.7				
		・職員の自己評価(C 学級経営)	4					
		・生徒指導や人権教育に係る研修会、市同研への参加	3					
III 信頼される学校づくり	A 目標の達成度	・市「コミュニティ・スクール推進状況の評価」の値	2	2.3	3.4	3.7	3.6	○学校環境の一層の向上を望みます。 ○メールやHPの活用は情報発信としては有効であるが、一方通行にならないよう配慮してほしい。 ○修学旅行の実施は感謝している。先生方が苦勞したおかげで実現できた。 ○コロナ禍の中、全職員で危機管理マニュアルのもと生徒の安全第一に教育活動したことで、大きく数値を下げず終えることを評価したい。
		・生徒の自己評価(地域理解や行事参加)と保護者の評価(三者連携・推進状況)	3					
		・文化理解科・地域ボランティア・学校行事・PTA行事等での実践と成果	2					
	B 方途の有効性	・C S 学校運営協議会の設置要項・推進構想・全体構想等の有効性	4	3.7				
		・家庭・地域等との連携、PTA活動の活性化、情報発信の有効性	2					
		・学校事故や生徒指導に係る報告・連絡・相談の徹底、5大不祥事の防止・実践	5					
	C 組織化・機能化の定着・推進	・C S 学校運営協議会の組織づくりと運営力、学校の体制づくり(校務分掌組織)	3	3.5				
		・文化理解科等地域人材の活用、外部講師等の招聘推進による組織活性化の実践	*					
		・日常的な危機管理(リスクマネジメント・クライシスマネジメント)、マニュアルの活用	4					
	D 職員の意欲	・職員の自己評価(C 校務分掌)	4	4.0				
		・職員の自己評価(C 家庭との連携)	4					
		・各種研修会や学習会への職員の参加、論文執筆、研究サークル等への参加	4					